

都市再生整備計画

きくがわ えきしゅうへん
菊川駅周辺地区

しずおか きくがわ し
静岡県 菊川市

令和4年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォーカブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	静岡県	市町村名	きくがわし 菊川市	地区名	きくがわえきしほうへん 菊川駅周辺地区	面積	45.5	ha
計画期間	令和	4	年度	～	令和	8	年度	
					交付期間	令和	4	年度
						～	令和	8
							年度	

目標
大目標:拠点の魅力と利便性・安全性の向上により働き盛りの人々に選ばれるまち(なか)へ 目標1:ポテンシャルを生かした魅力ある拠点の形成 目標2:利便性・安全性の高い交通ネットワークの維持と利用促進
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を考え方を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 菊川市では、令和3年4月に立地適正化計画を策定し、「コンパクト＋ネットワーク」の考えのもと、JR菊川駅周辺をはじめとする拠点の魅力の向上と、さらなる利便性の高いまちなかを形成することで、転入してくる多くの働く若者が利便性の高いまちなかを選び、都市機能が集積し施設へのアクセスが容易になることで、高齢者にとっても住みやすいまちの実現を目指す。 菊川駅周辺地区(以下、「当地区」という。)においては、駅南側はインフラ整備が進んでおり、駅北側も、民間開発等により土地利用が進んでいるが、菊川駅が南口のみので地平駅のため、南北市街地が分断されている。今後は、駅周辺地域のポテンシャルを向上させ南北市街地の均衡ある発展に寄与する施設として、南北自由通路や駅北口駅前広場の整備を行うとともに、駅前広場やグリーンモール等を活用した滞留空間を整備する。 また、駅周辺の交通ネットワーク強化を図るため、北口駅前広場内にバスバース、タクシーバースを整備するとともに、安全な居住地を形成するために周辺道路の防災機能向上を図る。
まちづくりの経緯及び現況 当地区は、JR菊川駅を中心に市街地が形成されてきた。駅南側は市役所本庁舎、保健福祉センターなどの行政機能や高等学校、金融機関、飲食店、診療所などの都市機能が立地する市の中心拠点である。駅北側は平成25年の都市計画道路朝日線のJRアンダーパス開通後、工場跡地に、民間開発によるマンション、戸建て住宅、ショッピングモールが立地し、今後も更なる発展が見込まれる地区である。しかし、現状の菊川駅は、自由通路がないため南北市街地が分断され、歩行者は踏切または(都)朝日線アンダーパスに迂回しなければならず、利便性・安全性の問題を抱えているとともに、南口駅前広場のみのため、駅周辺は混雑している。加えて、市役所と駅南口をつなぐグリーンモールに十分な滞留空間がなく、駅と市役所の拠点を活かした賑わい創出が不十分である。防災面においては、近年の頻発する集中豪雨により、(都)朝日線アンダーパスの冠水が多発し大雨時には通行車両が水没するなど、安全性に課題がある。 平成29年4月に菊川駅北整備構想を策定し、駅北側の駅前としての立地ポテンシャルを生かし駅北地域をにぎわいのある生活拠点とするため、南北自由通路と橋上駅舎を最も重要な施設と位置付け、整備を進めている。 令和2年3月には、市役所庁舎東館「プラザきく」が完成した。地区センターや市民協働センターと一体となった複合施設で、コミュニティ活動の拠点として期待され、市内外のメンバーによる「賑わいづくり研究会」により、菊川駅から市役所庁舎東館周辺の賑わいの創出を研究・実践している。(令和3年度地方創生推進交付金対象事業) 令和3年4月に立地適正化計画を策定し、「コンパクト＋ネットワーク」の考えのもと、拠点の魅力の向上と、さらなる利便性の高いまちなかの形成を目指す。拠点の魅力向上のための施策として、菊川駅の南北自由通路や北口駅前広場の整備や、南北自由通路とコミュニティ拠点の核となる市役所庁舎東館を中心に駅周辺で気軽に立ち寄れる場の創出と回遊性の向上を位置付けている。
課題 ・南北自由通路の開設による歩行者の利便性、安全性の向上とともに、(都)朝日線アンダーパスの冠水時の事故を防ぐなど安全性の向上が求められている。 ・南口駅前広場の混雑解消のため、北口駅前広場の整備による交通ネットワーク強化が求められている。 ・地域のコミュニティ活動の拠点である市役所庁舎東館や、交通結節点である菊川駅北口の開設と合わせ、人々が滞留できる空間を創出し、賑わいのある生活拠点の整備が求められている。
将来ビジョン(中長期) ■総合計画(平成29年度策定) ・自然と住環境が調和した都市づくり ・賑わいと活力を生み出す都市づくり ・地域間や広域のネットワークが充実した都市づくり ■都市計画マスタープラン(平成23年度策定) ・ネットワーク型都市構造の構築による、一体性の高い都市づくり ・拠点の充実・強化による、機能性の高い都市づくり ・地域資源の有効活用による、個性と魅力ある都市づくり

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市機能配置の考え方 ・周辺からの公共交通によるアクセス性アクセスの利便性が高く、都市機能が一定程度充実している区域と、プロジェクト区域や大規模な低・未利用地に都市機能を配置する。 ・当地区は、市の中心市街地として、商業・業務機能をはじめ多様な都市機能の集積を図り、賑わいのある都市空間の形成を目指す。							
都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等							
一体型滞在快適性等向上事業の計画 ※一体型滞在快適性等向上事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
滞在快適性等向上区域の考え方							
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
菊川駅乗降客数	人／日	菊川駅の乗降客数	南北自由通路や駅前広場の整備により交通結節機能を強化し、当地区の利便性と安全性の向上及び賑わいの創出を図ることで、菊川駅利用者数が増加する。	6,752人／日	R2	7,000人／日	R8
地域活動団体のイベント開催数	回／年	地域活動団体のイベント開催数	地域活動団体のイベントが多く開催され、当地区の賑わいが創出されることで、魅力ある拠点の形成を図る。	10回／年	R3	15回／年	R8
菊川駅周辺の交通事故件数	件	菊川駅の駅前広場、駅西側踏切、(都)朝日線及びその周辺道路における交通事故件数	南北自由通路や北口駅前広場の整備により、駅南口の自転車、歩行者が減少し周辺道路の混雑が緩和することで、当地区の利便性と安全性が向上し、交通事故が減少する。	4件／年	R2	3件／年	R8

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【ポテンシャルを生かした魅力ある拠点の形成】 歩行者の利便性、安全性の向上を図るため、バリアフリー対応等利用者に配慮した南北自由通路及び駅前広場を整備する。また、地域のコミュニティ活動の拠点である市役所庁舎東館と駅周辺の人々が滞留できる空間を整備し、賑わいづくり研究会の支援により賑わいの創出を行う。		【基幹事業】 (道路)南北自由通路整備 (地域生活基盤施設 情報板)南北自由通路電光掲示板整備 (地域生活基盤施設 広場)南口駅前広場拡張 (地域生活基盤施設 自転車駐車場)駐輪場整備 (高質空間形成施設 歩行者支援施設等)北口駅前広場バリアフリーの公衆トイレ、点字ブロック整備 (高質空間形成施設 緑化施設等)北口駅前広場修景整備 (高質空間形成施設 電線類地下埋設施設)北口駅前広場電線類地下埋設 (高質空間形成施設 緑化施設等)南口駅前広場修景整備 (高質空間形成施設 緑化施設等)グリーンモール修景整備 【提案事業】 (まちづくり活動推進事業)賑わいづくり研究会 【関連事業】南口駅前広場支障物件移転事業
	【利便性・安全性の高い交通ネットワークの維持と利用促進】 交通結節点の機能強化及び駅周辺の混雑緩和のため、北口駅前広場の整備を行う。また、駅周辺道路の安全性の向上のため、(都)朝日線アンダーパスの冠水時の事故防止対策を行う。	【基幹事業】 (道路)(都)朝日線アンダーパス冠水センサー整備事業 (地域生活基盤施設 広場)北口駅前広場整備事業
その他		
【菊川駅北整備構想(平成29年4月)】 ・目的 これまで菊川駅北側は、平成14年菊川町駅北開発基本構想を経て、都市計画道路朝日線のJRアンダーパス開通、旭テック(株)跡地における商業施設の開発、駅前住宅地の開発等が推進されたことにより、駅前としての立地ポテンシャルが飛躍的に向上してきた。現在、菊川駅北側ではさらなる民間開発事業が進められようとしており、菊川駅北口が開設されれば、南北を軸とした市の中核を形成できる可能性がある。本構想は、菊川駅北側における土地利用状況の変化や、市のまちづくり・国の今後のまちづくりのあり方を考慮し、駅北側地域のポテンシャルを活かした将来の土地利用及び整備の方向性を示すものである。 ・駅北地域の目指すべき姿(将来像) 菊川市の新たなにぎわい生活拠点～にぎわう駅前と選ばれる生活の場～ ・地域づくりの基本的な方向性(基本方針) (1)利便性の高い環境づくりにより若い子育て世代が多く住むまち (2)就業の場を創出し、多くの人でにぎわう地域経済を支えるまち (3)駅近接の交通利便性を活かして歩行者が安全に行き交うまち 【賑わいづくり研究会(令和元年度～令和3年度地方創生推進交付金対象事業)】 ・事業目的 平成29年度から市単独事業として整備を進めている地上3階建て延べ床面積1,680㎡の複合施設菊川市役所庁舎東館の2階に設ける多目的スペース及びテラスの活用を通じて、JR菊川駅から菊川市役所庁舎東館周辺エリアのまちの賑わいを市民の力により再生し、第2次菊川市総合計画に位置付けた将来都市構造「賑わいと活力を生み出す都市づくり」を実現する。 ・事業主体 事業主体は市内外のメンバーによる賑わいづくり研究会とし、地方創生人材として県内市町で地域づくりの先進モデルを展開し本市の人材育成事業にも携わるNPO法人を招聘し、そのノウハウを取り入れることで市民協働による賑わい創出ビジネスモデルを構築する。また、多目的スペース運用や広場やグリーンモールへの人の流れの波及については、市内に拠点を置き、市民活動実績に実績がありかつ殉難で効果的な運用を可能にすることが見込まれ、芸術文化の振興を通じ高等学校及び県内大学と強いつながりを持つNPO法人に市民協働センターと一体的に運営を委託する。 ・事業内容 市民等の協働により、ビジネス手法を用いた地域課題解決型賑わい創出事業を展開する。そして、JR菊川駅から菊川市役所庁舎東館周辺エリアの活性化戦略を構築、賑わい拠点となる市庁舎東館多目的スペース及びテラス、隣接広場、グリーンモールを活用し、実践する。		

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	4,381.0	交付限度額	2,190.4	国費率	0.5
---------	---------	-------	---------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分		交付対象 事業費	費用便益比 B／C
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路		南北自由通路整備	菊川市	直	L＝90m	R4	R9	R4	R8	4,287	4,008	4,008		4,008	
道路		(都)朝日線アンダーパス	菊川市	直	2基	R6	R6	R6	R6	1	1	1		1	
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		南北自由通路電光掲示板整備	菊川市	直	1基	R8	R8	R8	R8	10	10	10		10	
地域生活基盤施設		北口駅前広場整備	菊川市	直	A＝約2,500㎡	R7	R8	R7	R8	210	210	210		210	
地域生活基盤施設		南口駅前広場拡張	菊川市	直	A＝約700㎡	R7	R8	R7	R8	61	61	61		61	
地域生活基盤施設		駐輪場整備	菊川市	直	A＝約300㎡	R7	R8	R7	R8	30	30	30		30	
高質空間形成施設		北口駅前広場修景整備	菊川市	直	A＝約2,500㎡	R8	R8	R8	R8	16	16	16		16	
高質空間形成施設		北口駅前広場電線類地下埋設	菊川市	直	A＝約2,500㎡	R8	R8	R8	R8	3	3	3		3	
高質空間形成施設		北口駅前広場点字ブロック整備	菊川市	直	A＝約2,500㎡	R8	R8	R8	R8	1	1	1		1	
高質空間形成施設		北口駅前広場バリアフリーの公衆トイレ 整備	菊川市	直	A＝約45㎡	R6	R6	R6	R6	17	17	17		17	
高質空間形成施設		南口駅前広場修景整備	菊川市	直	A＝約700㎡	R8	R8	R8	R8	9	9	9		9	
高質空間形成施設		グリーンモール修景整備	菊川市	直	L＝約300m	R8	R8	R8	R8	10	10	10		10	
高次都市施設	地域交流センター														
	観光交流センター														
	テレワーク拠点施設														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										4,655	4,376	4,376	0	4,376.0	

…A

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分		うち民負担分
地域創造 支援事業														
事業活用 調査	事業効果分析調査	-	菊川市	直	-	R8	R8	R8	R8	4	4	4	4	
まちづくり活 動推進事業	賑わいづくり研究会	賑わいづくり研究会	菊川市	直	-	R4	R8	R4	R8	1	1	1	1	
合計										5	5	5	0	5
												合計(A+B)	4,381.0	

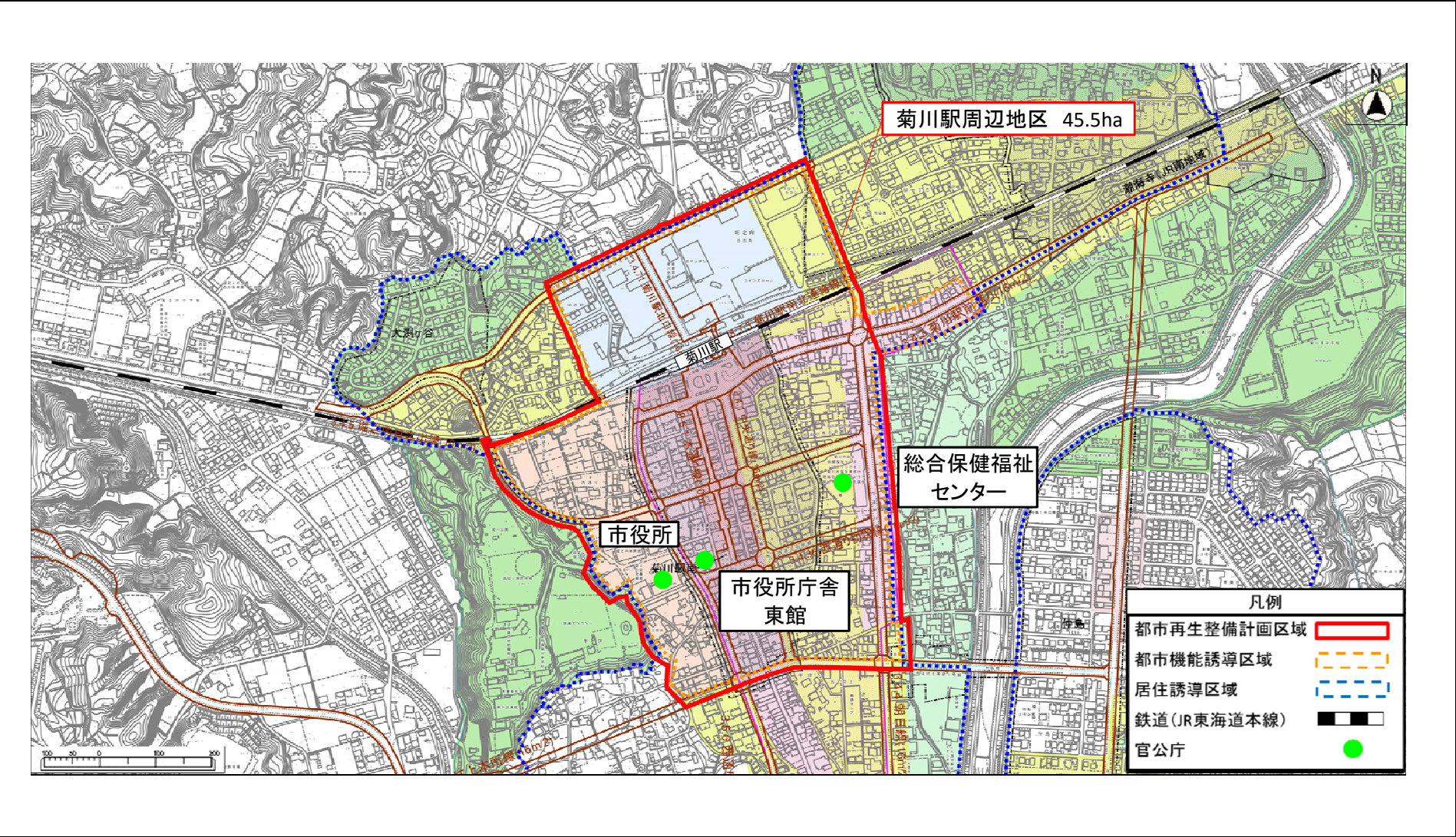
(参考)都市構造再編集中支援事業関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
					/	/	/	/			
					/	/	/	/			
合計					/	/	/	/			0

(参考)関連事業

[illegible]

菊川駅周辺地区(静岡県菊川市)	面積	45.5	ha	区域	菊川市堀之内の一部、柳一丁目の一部、本所の一部、半済の一部
-----------------	----	------	----	----	-------------------------------



菊川駅周辺地区（静岡県菊川市）整備方針概要図（都市構造再編集集中支援事業）

目標	大目標：拠点の魅力と利便性・安全性の向上により働き盛りの人々に選ばれるまち（なか）へ	代表的な指標	菊川駅乗降客数	（人/日）	6,752人/日	（R2年度）	→	7,000人/日	（R8年度）
	目標1：ポテンシャルを生かした魅力ある拠点の形成		地域活動団体のイベント開催数	回/年	10回/年	（R3年度）	→	15回/年	（R8年度）
	目標2：利便性・安全性の高い交通ネットワークの維持と利用促進		菊川駅周辺の交通事故件数	件	4件/年	（R2年度）	→	3件/年	（R8年度）

